

平成 29 年 4 月 17 日

平成 28 年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書

1. プロジェクト名

ラジャブザーデ文書コレクションの研究

2. 申請研究者

森本一夫 西アジア部門・准教授

共同研究者

ハーシェム・ラジャブザーデ、江浦公治（ともに定年退職後のため所属なし）

3. 研究期間

研究期間平成 27 年 7 月 23 日から～平成 30 年 3 月 31 日（3年間）

4. プロジェクトの趣旨、全体計画

ラジャブザーデ文書コレクションとは、旧大阪外国語大学ペルシア語学科で長く教鞭を執られ、イラン史、日本・イラン関係史などの分野で顕著な業績を残してこられたハーシェム・ラジャブザーデ博士の私蔵にかかるイランの文書コレクションである。おおむね 19 世紀前半以降の多数の原文書を含む極めて貴重なコレクションである。ラジャブザーデ博士は当コレクションの東洋文化研究所への寄贈を申し出ておられ、将来的には東洋文化研究所に所蔵されることになる。当プロジェクトは、ラジャブザーデ文書コレクションに含まれる文書群を主題にもとづいて整理し、特に重要な文書に関しては、さらに翻刻・研究および写真版の刊行を行うものである。ラジャブザーデ博士、これまでラジャブザーデ博士とともに研究を進めてこられた江浦公治氏、および東洋文化研究所の森本一夫が中心となって推進する。主題別に毎年 1 冊の研究成果の公刊を期す。

5. 今年度の研究実施状況

平成 28 年度当初は、年度中の作業として、農業用水に係る文書の整理と研究を予定していた。しかし、平成 27 年度の作業とその成果であるセンター叢刊第 22 輯『カージャー朝期イランの宗教・司法関連文書』の内容、また第 22 輯刊行への反響などに鑑み、まだ相当数の文書がラジャブザーデ文書コレクションに含まれている司法関連、宗教生活関連の文書の整理・研究を優先させ、第 22 輯の姉妹編に当たる書物を作成することとした。主として電子メールで連絡をとりながら研究を進めた。関係する文書などを整理し、読解を進め、特に重要な文書を選別した上で、その翻刻作業と写真版の作成を行った。翻刻作業に当たっては、第 22 輯刊行後に寄せられた指摘を踏まえ、昨年度よりも高い精

度でテキストを作成すべく努めた。また、それぞれにサイズが大きく異なる文書の写真版を限られた資材で作成するのは困難であったが、これも工夫により乗り切った。

6. 今年度の研究成果の概要

平成 28 年度の研究成果として、ハーシェム・ラジャブザーデ編著；江浦公治協力；森本一夫序文『カージャール朝期イランの法的権利関連・司法関連文書および宗教生活関連文書』（ペルシア語文書集成、4）を完成させることができた。本書は、173 点の文書の写真版とその翻刻を、それらが扱う案件にしたがって分類しつつ呈示した書物である。センター叢刊 22 輯に続けて本書が刊行されることにより、ラジャブザーデ文書コレクション中の法的権利・司法および宗教生活に関する文書群へのアクセスはさらに容易となり、19 世紀を中心とする時期のイランの地域社会史、宗教生活史などに関心をもつ国内外の方々に裨益するところ大となろう。なお本書は第 22 輯に続いて、東洋学研究情報センター叢刊の一冊（おそらく第 25 輯）として刊行される予定である。